

基本コンセプト

官民協働による運営

人材の再生

地域との共生

さらに進化

再犯防止×地域課題解決

【事業期間】

8年間（令和8年4月～令和16年3月）

【対象施設】

- 島根あさひ社会復帰促進センター
収容対象：男子受刑者等
収容定員：2,000名

【落札結果】

落札事業者：株式会社大林組グループ
グループ企業：SSJ株式会社
総合警備保障株式会社
落札金額：約326億4千万円（税込）

【対象業務】

- （総括マネジメント業務）
事業実施計画、セルフモニタリング
- （施設維持管理業務）
建築物保守管理、修繕業務等
- （総務業務）
庶務・名籍・経理・領置事務支援、情報システム
運転、消耗品等管理
- （収容関連サービス業務）
給食、衣類・寝具の提供、洗濯、
清掃・環境整備、理容
- （警備業務）
施設警備、信書・保安検査、警備システム
- （作業業務）
企画支援、技術指導、職業訓練
- （教育業務）
改善指導、図書
- （医療業務）
健康診断、理学・作業療法
- （分類業務）
処遇調査、社会復帰支援



再犯防止×地域課題解決に貢献する連携

三者連携協定の発展
→地域連携会議の新設により、浜田市、島根県立大学との協定を有機的に運用

共同研究(案)	内容
不耕栽培	農作業の省力化による人材不足対応や環境型社会の形成に貢献
コンポスト	センターや地域で発生したゴミを原料とし出来た堆肥は地域に還元
コケ栽培活動	苔玉やテラリウム等の商品化も検討。地域の産業振興に貢献
アートづくり	海洋清掃の流木等を活用したアートづくり

地域交流エリアを活用

地域交流の場を創設
→子どもや高齢者の居場所づくり
○あさひコミュニティ食堂
・受刑者の農作業で採れた野菜の提供
○あさひ学びの場
・受刑者が匿名アバターで講師



地域とつながる給食、共に作る改善更生プログラム

○地域との繋がりを感じる地元食材を活用したイベント食「しまねの日」を実施
○外部有識者や学生と一緒に「保護猫の社会化プログラム」の企画・開発を実施
→忍耐力等のスキルを涵養し、保護猫の殺処分という地域課題の解決の一助に



DX技術を活用した矯正処遇・社会復帰支援の実施

○VR・メタバースを活用した職業訓練等
・建設機械運転科の修了生に対し、VR空間でフォローアップを実施
・3次元仮想空間を制作するスキルを学ぶ「メタバース空間制作科」
○DXを活用した社会復帰ロールプレイ、企業説明会の開催
○メタバース空間を活用した依存症自助グループへの参加、教育プログラムでの活用
→DX技術を用いて刑事施設での物理的な制約を打破



ICT活用による業務の効率化・高度化

○屋外で自律巡回ドローン、庁舎で警備ロボットを活用
○受刑者の単独での移動を独歩誘導ビューアで実現
→ICT活用による業務の効率化・高度化



【事業見直し】

○諸条件の変化に応じて、1回以上、事業内容を見直す。
○社会課題解決に資する新たな取組を外部と連携して1回は実施